

しま暮らし民泊から。

え入れる。
さらに、民泊先などで
受け入れ家族と一緒に過
ごす家業体験、島ならでは
の漁業体験（防波堤釣
り、船釣り、地引網、す
り漁、灰ダコ捕りなど）、
豊かな自然を存分に楽し
む自然体験など多様な体
験プログラムを用意して
いる。

考えてもつらい機会に
なるに違いない。

教育旅行モデルコース
長崎平和学習と五島民
泊の組み合わせが定番コ
ース。民泊泊の場合は、
家業体験（ふれあい交流
体験）を行うことで、より

自
言

であること。ほんもの体験のメインは、島の暮らしをどっぷりと体験する民泊だ。

市内全域で最大150軒・400人の受け入れ

文化遺産登録
ーラム in 長崎

本遺産に認定されている構成文化財が3力所にある。今年は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連」の「五島感動ま旅」
と銘打って体験交流プログラム群でこだわっているのは、「ほんもの体験」が可能。ありのままの暮らし、ひと、自然、文化にふれる機会として、生徒をお客扱いするのはなく家族の一員として迎

日本の縮図と言える五島の課題を知る教育効果の高い体験プログラムも展開する。五島は、過疎高齢化、人口減少による

抱い手不足、観光産業全般の低迷といった課題を抱えている。昭和30年代に9万人を超えた五島市の人口は、現在では4万人を切り、高齢化率は40%に迫る勢いだ。ありのままの五島と、その先にある離島の課題について

来年3月 離島初

第15回全国ほんも

第15回全国ほんもの体験フォーラム in 長崎・五島

五島での「しま育」

五島は、海との共生や環境保全を学ぶ「海育」、健全で豊かな食生活を学ぶ「食育」、コミュニケーション能力を育む「共

育」の三つを柱とした「しま育(しまで育む)」を目指して、教育旅行向けに体験交流プログラムを提供している。

五島市は今、注目すべき離島では初となる長崎県

五島市観光協会は、「五島での民泊や漁業体験、自然体験を通じて、自らの力で人間関係を構築する能力を育成し、生徒の豊かな心と生きる力を養うお手伝いをしたい」と、教育旅行の受け入れに力を入れている。

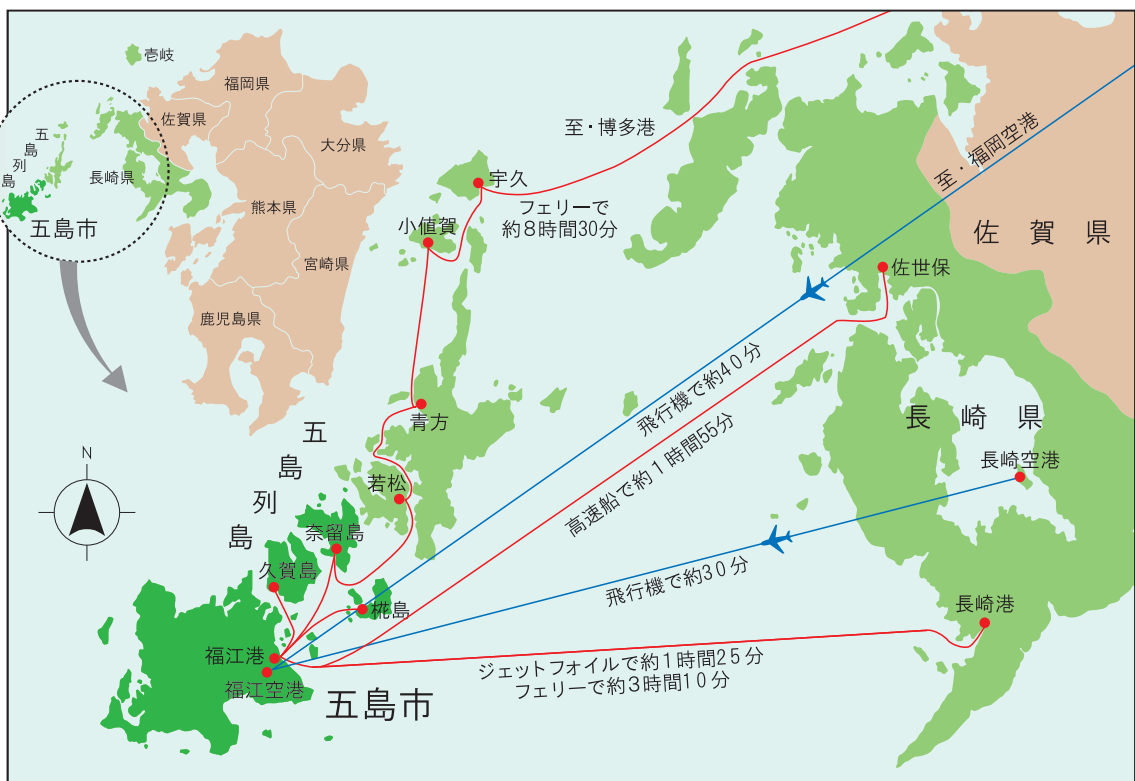
毎年、全国各地で開催されている「全国ほんもの体験フォーラム in 長崎・五島」

今年6月末に世界文化遺産への登録が決定した「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産がある五島の「ご来島」と、五島市観光協会は暖かく掛けている。

019年3月21・23日に

の体験ネット

すり身揚げ作り体験



五島市へのアクセスマップ

全国ほんもの体験ネットワークの理念と実践で選ばれる地域に

体験型教育旅行が求められている背景

① 日本の社会情勢

子どもが犠牲者になる猟奇的で凶悪な殺人事件が相次ぎ、子供の虐待が7万件を超え、いじめ問題などで不登校が後を絶たない教育現場。その原因は何が、いろいろな要因が絡まっているが、一つは「人間関係構築能力」の低下である。

生徒は放課後の校庭や集落地域でも野外で遊びもしない。遠年齢間や多人数の中で人間関係を学ぶのが遊びであった。部屋に閉じこもりパソコンやスマホでのネット依存やテレビやコンピュータゲームばかりではバーチャルであり、ほんものの体験でしか真実は学べない。生き物や人の命の尊さを考える機会がゲームでないことは明らかであり、人間力を育めず悪影響を及ぼしている。

② 求められる教育力

本当の豊かさとは何かが問われている。それは、あふれる物でもお金でもなく、豊かさが「物や金」だと追い続けてきた高度成長の影で、忘れられていた「心の豊かさ」に他ならない。つまり、今までの物質文化から精神文化へ転換を意味する。精神文化とは「人

農家・漁家民泊の教育効果と安全対策

① 基本的な考え方

田舎は、澄みきつた空があり、山や森かと海に続く豊かな自然がある。そして、隣近所との信頼関係、家族の絆。人間関係が希薄な時代に日本人が忘れかけていた「心豊かな田舎の暮らし」がある。

巡り会いであることを願う。まさに、

食育、食農教育、食食振興の現場である。そして、家庭の温かさや家族の絆を胸に刻むことになり、人と人の心の通い合いであり、人間関係が希薄な今日、その構築能力は人に会い交流すること、それが学べない。

民家ステイへ期待度が大きい

修学旅行旅館のみならず大型旅館ホテルの食事には、輸入、冷凍、工場加工の業務用の出来合の総菜などのオンパレードある。また、インスタント食品、レトルト食品だとすると、生産地や食材の違いは分からない。コスト

ばいになればいいなどと考えているな

ら、旅の魅力を半減させることになる。

今、日本にとってなせ食育が重要か。共同調理が民家ステイの許可条件である。

① 農山漁村の仕事を手伝い、食料生産の現場の実態とその価値を理解する。

められている背景

人間が人間らしく生きる「すなわち自然と人間とのかわり、人と人とのかわり」を大切にするのである。人々が「真の豊かさとは心豊かなことである」と気付いた今、その豊かな自然と、素朴で人情厚い食文化である、その教育力（人・食）こそが、（生業・作業・匠・人々）である。

生の人間が直接交流し「コミュニケーション」することこそ人間関係構築能力向上になる。共同体験によりその機会が可能となり、あらゆる体験活動や民家ステイの教育効果が高い。

2020年から実施予定の新学習指導要領では、論理的思考力の不足や学習意欲、社会参画意識の低さなどが指摘され、その現状から改善を図ることが必要とされている。教員による一方の向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法を「自主的・対話的

で深い学び」と呼ぶことにした。

し、成果を表現するまでの過程を、学ぶ側が主体的に行う学習方法である。具体的には、体験学習や調査学習、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなどが挙げられる。それには、体験交流が極めて有効な教育手法である。

育効果と安全対策

③ 自分で食事を作れる人を育てなければ、日本の食文化は絶滅してしまふ。

④ 家族で家庭の食卓を一緒に囲む習慣を取り戻し、家族の絆を再構築したい。

③ 田舎から田舎へ

農山漁村での民家スタイルの教育効果は都市部の学校のみではない。田舎から田舎へであっても、同じ地域は在るはずもない。田舎の生徒がトラックターに乗っている姿も、漁船に乗っている姿もほとんどと見ることはない。漁

ない。親や祖父母のお陰で田舎に

④ **安全対策・危機管理・法令遵守**

残念ながら、理念や教育効果の音

あるいは、安全対策、危機管理、法令遵守などのスキルを高めようとする志と行動が足りないところが存在する。

全国ほんもの体験ネットワークでは品質の維持向上のため、安心して選ばれる地域になるために毎年インストラクターや民家スタイの担い手向けに

北海道知床標津町感動体験 標津町エコツーリズム 交流推進協議会 〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1-3 TEL：0153-82-2131 FAX：0153-82-1787	いわてくじし こころの体験 ふるさと体験学習協会 〒028-8030 岩手県久慈市小川町1-1 TEL：0194-75-3005 FAX：0194-75-3007	番屋エコツーリズム NPO法人 体験村・たのはたネットワーク 〒028-8402 岩手県下閉伊郡田野畑村142-3 TEL：0194-37-1211 FAX：0194-33-3355	南会津農村生活体験推進協議会 みなみやま観光株式会社 〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後町甲3973-1 TEL：0241-62-2250 FAX：0241-62-7788	越後田舎体験 越後田舎体験推進協議会 〒942-0411 新潟県上越市安塚区安塚722-3 TEL：025-592-3988 FAX：025-592-3324	秩父に泊まろう！～秩父地域民泊体験～ 一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社 〒368-0032 埼玉県秩父市熊木町9-5 TEL：0494-26-6260 FAX：0494-26-7331	横須賀西海岸体験たび推進協議会 横須賀西海岸体験たび推進協議会 〒238-0004 横須賀市小川町14-1 TEL：046-824-4216 FAX：046-824-2019
感動体験南信州 株式会社 南信州観光公社 〒395-0152 長野県飯田市青良町1-2-1 TEL：0265-28-1747 FAX：0265-28-1748	若狭美浜はあとふる体験 若狭美浜 はあとふる体験推進協議会 〒919-1122 福井県三方郡美浜町松原35号16番地の18 TEL：0770-32-2222 FAX：0770-32-2239	三方よし！ 近江日野田舎体験 一般社団法人 近江日野交流ネットワーク 〒529-1602 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地 TEL：0748-52-6562 FAX：0748-52-8888	忍者の里こうかて田舎体験 甲賀市都市農村交流推進協議会 〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053番地 TEL：0748-65-0711 FAX：0748-63-4592	大和・飛鳥民家ステイ 一般社団法人 大和飛鳥ニューツーリズム 〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄5 TEL：0744-54-1525 FAX：0744-54-1526	南紀州 ほんまもん体験 一般社団法人 南紀州交流公社 〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居306-1 TEL：0739-53-0055 FAX：0739-34-5010	広島湾域まるごと感動体験 広島湾ベイエリア・ 海生都市圏研究協議会 〒730-8510 広島市中区基町5-44 TEL：082-222-6641 FAX：082-222-6411
南阿波よくばり体験 南阿波よくばり体験推進協議会 〒775-8570 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村14 TEL：0884-72-2622 FAX：0884-72-2623	ほんものの田舎体験そらの郷山里物語 一般社団法人 そらの郷 〒778-0003 徳島県三好市池田町サラダ1893番地1 TEL：0883-76-0713 FAX：0883-72-0753	黒潮・清流・里山の恵みを体感！ 一般社団法人 幡多広域観光協議会 〒787-0014 高知県四万十市駅前町15-16 TEL：0880-31-0233 FAX：0880-31-0660	松浦党の里 ほんなもん体験 一般社団法人 まつうら党交流公社 〒859-4501 長崎県松浦市志佐町浦免1808番地1 TEL：0956-27-9333 FAX：0956-27-9334	五島感動しま旅！ 一般社団法人 五島市観光協会 〒853-0015 長崎県五島市東浜町2-3-1 TEL：0959-72-2963 FAX：0959-74-3215	体験交流型教育旅行 田舎暮らし体験 北きりしま田舎物語推進協議会 〒886-0003 宮崎県小林市堤108番地1八幡原市民総合センター TEL：0984-22-3020 FAX：0984-22-3020	沖縄体験観光協会 一般社団法人 沖縄体験観光協会 〒901-0155 沖縄県那覇市金城5-11-4「アーストリップ内」 TEL：098-996-2296 FAX：098-996-2291